

難聴の赤ちゃんとのコミュニケーション②

補聴器をついたら・・・

☆補聴器を装用しても、反応が薄かったり、嫌がったりすることがあると思います。補聴器は、付けてすぐに音を聞き分けて音声を認識できるようになる物ではありません。

補聴器を装用して、音や声に気付き、それが何の音か、誰の声かが分かるようになるまでは時間がかかります。繰り返し音や声を聞き、音源を見ることで、音と音源が結びついていきます。

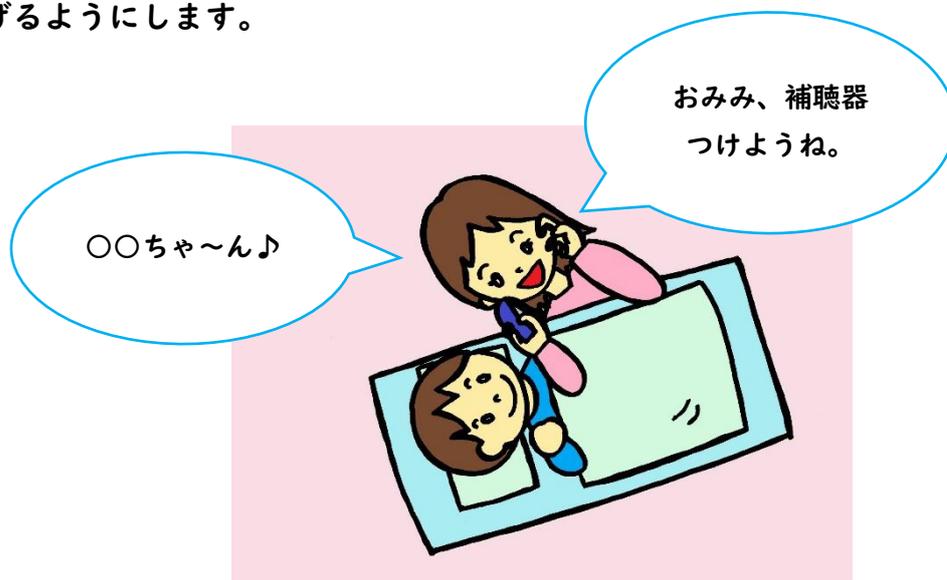
焦らず少しずつ、補聴器装用の時間をのばしていきましょう。

1. 補聴器はいつ付けるの？

- ・赤ちゃんが目覚めて、大人がゆっくり関わって話しかけてあげられる時に付けてあげましょう。
- ・補聴器を付ける前に、スイッチを入れて大人が音を確認しましょう。

電池切れや故障で音が出ていないことがあります。音が出ることを確認してから付けてあげてください

- ・補聴器を付ける時も、実物を見せて、「おみみ（補聴器）、つけようね」などと声をかけてから付けてあげるようにします。



2. 補聴器をついたら

・補聴器を付けたら、顔を見て「〇〇ちゃん」と名前を呼んであげましょう。「あーあー、聞こえたね」「おはよう」など、身ぶりや手話と一緒にたくさん話しかけてあげてください。

そのまま、ミルクを飲んだりオムツを替えたり、遊んだり、大人と一緒に過ごしている時間はずっと補聴器を付けておきます。

赤ちゃんが音に気付いたら、「この音だよ」と、音源を見せてあげましょう。



3. 補聴器を嫌がったら

・自分で手を動かして耳に届くようになると、補聴器を触って外すことがあります。偶然手が当たってしまった、補聴器を触るのが楽しくて遊んでいる、などの場合は「おみみ、つけようね」と補聴器を付けてあげて、触って遊べるおもちゃを持たせてあげましょう。意識を補聴器からそらし、耳を触らずに遊べるようにするのがです。



☆補聴器を付けると顔をしかめて泣く、何度付けても嫌がって外そうとする場合は、音がうるさすぎたり、イヤモールドが擦れて痛かったりしていることがあります。様子を見て、おかしいなと思ったら、聾学校や補聴器屋さん等の担当に相談してみてください。